

議会だより みなかみ

令和7年
2025年
10月15日発行
85号
群馬県利根郡みなかみ町

みんなの歌声 ミライへ届け

… みなかみ町 20周年 記念セレモニー …



バックナンバー
が見られます。



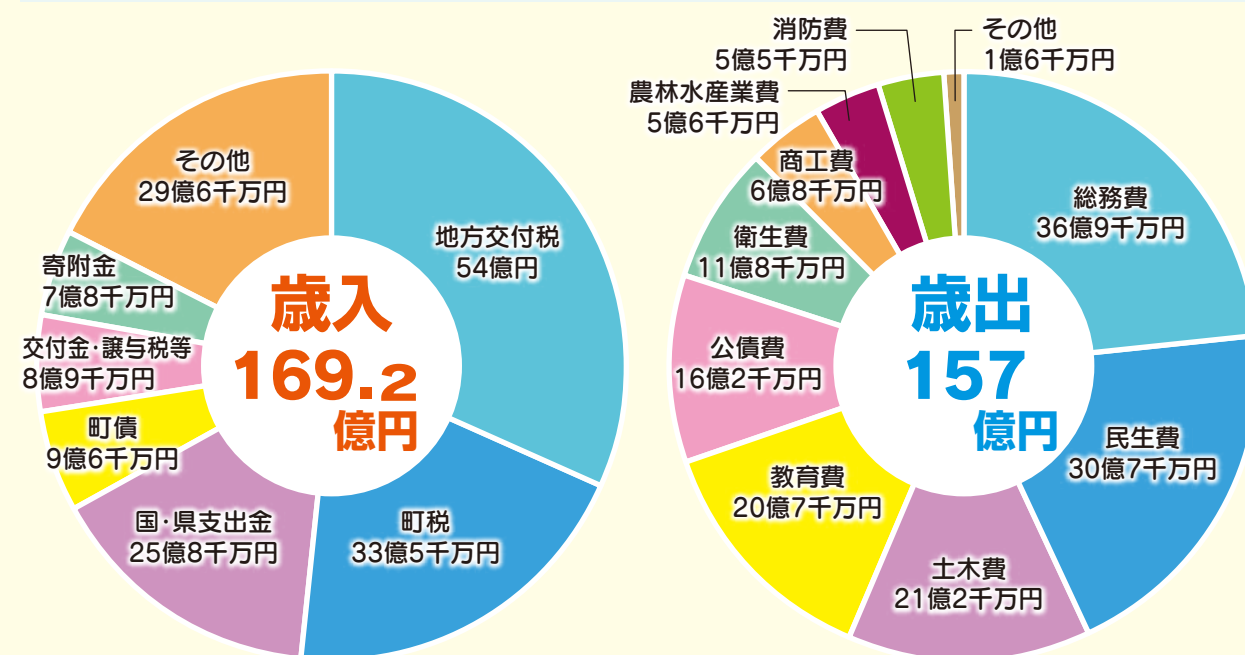
みなかみ町
20周年



令和6年度決算を認定

一般会計決算の概要

歳入 169 億 2472 万円 歳出 156 億 9698 万円
歳入歳出の差引額 12 億 2774 万円。繰越財源を控除した実質収支額のうち、2 億 2000 万円を財政調整基金へ積み立て、残りは令和7年度に繰り越しました。



		歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計		20 億 7965 万円	20 億 3909 万円
後期高齢者医療特別会計		3 億 7678 万円	3 億 5169 万円
介護保険特別会計		28 億 8863 万円	26 億 6585 万円
水道事業会計	収益的収支	4 億 370 万円	3 億 5688 万円
	資本的収支	1 億 1309 万円	4 億 1305 万円
下水道事業会計	収益的収支	7 億 6494 万円	6 億 8028 万円
	資本的収支	4 億 1587 万円	4 億 5876 万円

※千円以下を四捨五入しています。

歳入 7億8453万円 寄附金

(単位：円)

	ふるさと寄附金		地方創生応援税制寄附金	
	寄附金額	前年度比	寄附金額	前年度比
令和5年度	767,053,000	—	334,600,000	—
令和6年度	549,959,000	▲ 217,094,000	232,838,875	▲ 101,761,125

個人の方々からのふるさと寄附金（ふるさと納税）が 5 億 4996 万円、企業からの地方創生応援税制寄附金（企業版ふるさと納税）が 2 億 3284 万円、その他の寄附金が 173 万円であり、町の歳入において重要な位置を占めています。

全国的に寄附金の市場規模は右肩上がりです。すでに 1 兆円を超えるまでに成長しており、自治体間の競争も一層激しくなっています。こうした中、寄附金は町の魅力を発信する有効な手段になることから、今後、さらなる市場拡大が見込まれる分野であり、より積極的に取り組む必要があります。

歳出 6億6971万円 小中学校統合推進



校舎外観イメージ

月夜野地区の古馬牧・桃野・月夜野北の3小学校の統合を控え、月夜野小学校の整備を行っています。

令和6年度に月夜野小学校校舎建設工事に着手。1工区の本校舎（鉄筋コンクリート造）建設終了後、桃野小学校校舎を解体し、職員室・昇降口等を整備する2工区を実施する予定です。

また、月夜野小学校の児童用の机と椅子は、広葉樹産業化プロジェクトの一環として、自伐型林業団体が町有林から伐り出した広葉樹を町内の製材所で加工し、その後、包括連携協定を結ぶオークヴィレッジ株式会社に製作を依頼しています。



歳出 3690万円(繰越分含む) 消防団詰所・車庫整備



下牧詰所



石倉詰所

消防施設については、行政区からの要望に基づき計画的に設置しています。

令和6年度は、老朽化が進んでいた消防団第3分団石倉詰所と第1分団第4部下牧詰所を建て替えました。

歳出 2億5496万円(繰越分含む) エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金

物価高における影響が大きい低所得世帯の生活を支援するため、一世帯あたり10万円、さらに児童1人あたり5万円が加算された給付金が支給されました。また、定額減税しきれないと見込まれる方に調整給付金を支給しました。現金給付を行ったことにより、物価高騰の影響を受ける家計の負担軽減に寄与しました。



イメージ写真

9 月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号		議案内容	議決結果
発議	第 2 号	議員派遣の件 群馬県町村議会議員研修会に全議員を派遣するもの	全会一致可決
選挙	第 1 号	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	
報告	第 9 号	令和6年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について	
	第 10 号	株式会社水の故郷の経営状況の報告	
	第 11 号	株式会社猿ヶ京温泉夢未来の経営状況の報告	
諮問	第 12 号	株式会社月夜野振興公社の経営状況の報告	全会一致 適任との意見
	第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	
	第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致 適任との意見
	第 63 号	農業委員会委員の任命	
議案	第 64 号	令和7年度役場庁舎3階空調設備改修工事請負契約の締結	全会一致可決
	第 65 号	町立桃野小学校旧校舎棟他解体工事請負契約の締結	
	第 66 号	令和6年度（繰越）月夜野小学校備品購入契約の締結	
	第 67 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
	第 68 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
	第 69 号	自転車置場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	
	第 70 号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	
	第 71 号	下水道条例及びみなかみ町水道事業給水条例の一部を改正する条例	
	第 72 号	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	
	第 73 号	猿ヶ京温泉交流公園条例の一部を改正する条例	
	第 74 号	ふれあい交流館条例の一部を改正する条例	
	第 75 号	真沢ファーム交流施設条例の一部を改正する条例	
	第 76 号	体育施設条例の一部を改正する条例	
	第 77 号	新治B＆G海洋センター条例の一部を改正する条例	
	第 78 号	新治B＆G海洋センターミニ艇庫条例の一部を改正する条例	
認定	第 1 号	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定	全会一致認定
	第 2 号	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	
	第 3 号	令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	
	第 4 号	令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	
	第 5 号	令和6年度水道事業会計決算認定	
	第 6 号	令和6年度下水道事業会計決算認定	
議案	第 79 号	令和7年度一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決
	第 80 号	令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）	

陳情

委員長・議長は採決に加わりません

件 名		陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第2号	みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情書	窪田 金嘉	産業観光生活環境常任委員会 （6月継続審査） 賛成少数 0：6 不採択すべきもの	賛成少数 0：12 不採択 （欠席1）

諮問

人権擁護委員候補者

次の方を人権擁護委員候補者に推薦することについて、
適任との意見を付した。

なまづ やすしげ
生津 保茂 氏（猿ヶ京温泉）

しもだ かなこ
下田 佳奈子 氏（後閑）

補正

総額 160億1856万円

補正額 2億2357万円

（端数処理あり）

歳出

木育推進事業……………1 億 1000 万円
電子地域通貨運営・活用事業…………… 5137 万円
その他…………… 6220 万円

歳入

新しい地方経済・生活環境創世交付金 5090 万円
森林環境譲与税基金繰入金…………… 3310 万円
電子地域通貨チャージ収入…………… 3850 万円
その他…………… 1 億 107 万円

決算審査

代表監査委員の高橋道明氏により
各会計決算及び各基金運用状況の審
査意見について報告があった。

（一部を要約）

令和6年度決算について試査の方法
により審査した結果、一般会計、特別
会計及び企業会計を通じ、会計処理は
適法適正であると認めたので報告する。

歳入

町税など自主財源は町を支える貴重
な財源の一つである。滞納繰越額の増
加を防ぎ、安定的な財源確保が課題と
なっている。住民間の公平性を保ちな
がら毅然とした対応を進め、厳しい財
政状況に対応していくことが重要であ
る。より一層の努力を望む。

歳出

健全財政に向け、地方債の新規発行
の抑制等、鋭意努力されていることが
認められる。

保有する未利用財産については、具
体的な売却・貸付・除却に向けて計画
を策定するなど、経費削減に向けた取
り組みを強化してほしい。

補助金・請負契約等各種書式管理

補助金や請負契約の書式管理に関す
る試査を実施した結果、予算の執行は
基本的に問題なく行われていることが
確認できた。ただし、一部の事務手続
きに関して担当者間に認識の違いが見
られたため、今後は統一した対応が図
れるよう望むところである。

行財政運営と適正な行政執行

これまで財政の健全化のため行財政
改革に取り組み、鋭意努力しながら一
定の成果を上げてきた。

事務事業の統廃合や縮減について、
今後とも町の財政や社会情勢を勘案し
ながら、実現可能となるものを導き出
し、適正な行政規模と少数精鋭による
行政運営に向けた取り組みを進め、更
に経費の削減・事務の効率化・人員配
置の適正化等に向けてしっかりとした
対応を期待したい。



決算連合審査会

9月4日、2常任委員会合同の「連合審査会」が開催された。本会議で決算認定を行うため、質疑応答で詳細を審査する目的がある。（一部抜粋）

一般会計

歳入

質 上毛高原駅前駐車場使用料が令和6年度実績1697万円、前年度と比較して若干の増額となっているが、利用台数との比較ではどうか。

答 令和5年度の利用台数は6万2815台、令和6年度は6万1672台と減っている。利用される方の長時間駐車が多く、約60万円増額になっている。

質 町税それぞれに**不能欠損額**が計上されているが、この背景とどのような努力や取り組みをしているのか。

答 法人は倒産や事業停止等、個人は生活困窮や所在または行方不明になって、財産等もみつからない件について処理している。徴収努力は引き続き行っていく。

歳出

質 観光センター使用料について、1、2年前から金額が適正か相談しているが、今後について考えは。

答 使用料については、昨年も意見をいただいております、検討委員会を設けて考えたい。

質 人材活用管理事業について、2億6024万円。増額の詳細と会計年度任用職員99人は今後も増やすのか。

答 会計年度任用職員の人数が増えたことで報酬や給料が増加した。令和6年度から勤勉手当も支給している。今後も任用のニーズがあれば採用する予定。

質 公用車管理費が3777万円。削減計画の結果、減額につながったのか。

答 公用車は、計画に基づき16台削減し、成果が表れている。

質 消防団詰所整備工事費4721万円。老朽化が進み建て替えるの要望が行政区から何件あるか。

答 令和6年度に1件建て替え、来年度に1カ所建設予定。要望としては、あと3地区残っている。

国民健康保険特別会計

質 国民健康保険税3億7312万円。前年度比減となっている。自然減や後期高齢者医療への移行、社保への移行が原因と考えるが加入者数は。

答 加入者は年々減っていて、令和6年度末は、2693世帯4003人。被保険者数が減少していることで、税収も減少している。

審査結果

審査の結果、一般会計ほか全ての会計で討論はなく全会一致で認定すべきものとなった。

7月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

7月臨時議会
あらかし

議案番号	議案内容	議決結果
第59号	令和7年度社会資本整備総合交付金事業町道真政悪戸線大沢田川付替工事（第2工区）請負契約の締結	全会一致可決
第60号	令和7年度社会資本整備総合交付金事業除雪機（小型ホイールローダ3t級）購入契約の締結	
第61号	令和7年度社会資本整備総合交付金事業除雪機（除雪ドーザ14t級）購入契約の締結	
第62号	令和7年度社会資本整備総合交付金事業凍結防止剤散布車（乾式3t級）購入契約の締結	



ホイール式除雪ローダー



凍結防止剤散布車

7月25日に臨時議会が開催された。
契約4件を審議した。

映像配信

令和7年7月から、本会議の録画映像がインターネットで配信されました。これは、議会をより開かれたものにし、傍聴できない方々にも視聴の機会を提供するものです。

視聴方法は、QRコードを読み取るか、町ホームページからアクセスすることができます。

Wi-Fiが安定した環境での視聴が推奨されています。



町ホームページ
↓
くらしと町政
↓
町議会
↓
議会映像配信



活動報告

8月25日 研修
昭和村公民館

利根郡町村議会議員研修会

利根郡町村議会議長会主催の研修会に全議員が参加し、左記の講演を聴講しました。

- 災害と議会・議員の役割
- 議会運営・役場を動かす一般質問の仕方



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

鈴木 美香 すずき みか

①みなかみ町合併20周年に関連して

石坂 欣也 いしがき きんや

①災害時に観光客も取り残さない町へ
外国人も安心できる観光防災の仕組みづくり

高橋 久美子 たかはし くみこ

①防災の取り組み
②学校における防災教育

星野 宗央 ほしの かずひさ

①平和教育について
②米農家の担い手等支援について



鈴木 美香 議員

町長 周知が届いている 合併20周年、浸透していない



問 合併後、今までの20年を振り返って思うところは。

答 町長 最初の10年は町が一つにまとまるための大変重要な時期。直近の10年間では、ユネスコエコパーク登録、SDGs未来都市に選定された。水と森と人を育む利根川源流の町として首都圏3千万人の水がめを守るための取り組みを地域住民や民間企業、関係機関と連携して進めてきた。

問 記念事業の実行委員会、メンバーの役割や目的は。

答 町長 委員長に町長、副委員長は商工会長と観光協会代表理事、議長、副議長、教育長、区長会長、計7名で構成。これまでの歩みを振り返り、地域の魅力を再認識するとともに、未来に向けたまちづくりの意識を高めること等を目的とした記念行事を実施するため組織した。

問 10月4日の式典の詳細を。

答 町長 午前11時より20周年記念セレモニー。親善大使のなつこさんの歌が始まり、町長の式辞、自治体の長や友好都市の関係各位、町内の行政の区長を来賓として招き、祝辞等を頂戴する予定。台南市から副市長・議会議長が来町し、議会の友好協定を執り行う予定。みなかみ中学校の校歌を、中学生全員が合唱。歌うまコンテストを開催し、最後にMay J.さんのステージ。

問 合併10周年記念時には記念カレンダーを全域配付。合併10周年の歩みという記念誌を発行。20周年に用意できるのか。

答 町長 冊子ではなく、記念映像を制作する予定。

問 これからの20年どのようなみなかみ町を目指すのか。

答 町長 単に暮らしやすい町をつくることではなく、町民の皆様が生きていく意味が深まる町と感じられるような誇りと魅力に満ちた町。変化をおそれず、次世代に誇れる未来を紡いでいくことがこの時代を生きていく私たちの使命。地域全体の協力を基盤として次世代に誇れるみなかみ町をつくり上げていく。

問 合併20周年が浸透していないと感じるが。

答 町長 歌うまコンテスト、周知が届いているから応募が段々来た。

問 様々な立場の町民がいないから情報の周知が弱いのでは。

答 町長 少数精鋭の中で議論を重ねた。

みんなの歌声、ミライへ届け。





石坂 欣也 議員

観光防災を観光資源にする発想は



問 災害時の多言語態勢の現状と課題。

答 町長 町全体でとらえると多言語避難案内の整備は、まだ十分とはいえない。観光関連の各機関とも連携を図りながら、今後研究していきたいと考えている。

問 観光防災訓練への外国人参加の仕組み。

答 町長 観光客、特に外国人留学生やアウトドア参加者を対象にした観光防災訓練について、意義は承知しているが、観光防災訓練の計画は予定していない。

問 宿泊施設、観光事業者との連携。

答 町長 平常時から観光協会等の関連団体と定期的に情報交換を行うとともに、災害時における避難体制の整備をしたいと考えている。

問 先進地事例の応用、白馬村での災害時多言語放送アプリや、別府市でのQRコード式避難情報案内を導入して、観光防災のブランド価値に転嫁していく考えは。

答 町長 防災システム導入に新たな機能や改善点を取り入れることができないか検討し、費用対効果についても検証を進めることが重要と考えている。

問 観光防災を観光資源にする発想は。

答 町長 誰一人として情報弱者が生じないように配慮し、行政としてできる限りの予防策・対応策に取

り組むとともに、地域の皆様にもご協力いただける体制を構築し、有事に備えている。ブランド化に関係事業者、団体等としっかり連携する中で研究していきたいと考えている。



高橋 久美子 議員

避難所で命と健康を守るには



問 気候変動の影響により、猛暑とともに線状降水帯などが頻発化しており、毎年大きな災害がもたらされている。熊本地震や能登半島地震で、災害による直接死の何倍もの災害関連死が報告されている。災害のたびに避難所生活の質の問題が問われている。避難所において命と健康を守ることが重要。政府はスフィアと呼ばれる国際基準を避難所の質向上を指標として正式に位置づけた。スフィア基準について見解は。

答 町長 町だけでは大規模な災害発生時に十分な体制を確保することは困難。近隣市町村との応援協定や、企業との物資の供給に関する協定を有効に生かし、スフィア基準を参考に体制整備に取り組んでいきたい。

問 避難所の環境改善に重要な取り組みになるのがTKBと言われる。

T、快適なトイレ。
K、温かい食事が出せるキッチン。
B、体を休める簡易ベッド。

トイレについて伺う。トイレ対策は大変重要、災害時のトイレは必ず自給が必要。携帯トイレの備



簡易トイレほか



簡易ベッド

蓄は欠かせないもの。目安として、1人1週間分で35袋ぐらい。この事を意識啓発・周知徹底をしていただきたいと思うが。

答 町長 清潔なトイレの確保は、避難者の健康に直結する大変重要な課題。飲料水だけでなく、携帯トイレについても、備蓄を促す啓発を行っていききたい。

問 自主防災組織の強化を考えると、防災士のネットワーク強化は大切。見解は。

答 町長 賛同いただける方を中心に防災士のネットワークづくりを推進し、その力の結集を図る為の組織化を推進していきたい。

問 防災教育で地域と学校の視点的から、どのような方向性の取り組みがあるのか、見解は。

答 教育長 こども園、小学校、中学校が連携した園児、児童、生徒、保護者が参加する大地震を想定した合同の引渡し訓練も実施。その取り組みの現状や情報を地域に発信することにより、地域住民の方々にも防災教育への関心を高めていただけるのではないかと考える。

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に活用してもらいたいわが家の情報です。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。連絡してほしい方などの情報を記入しましょう。

わが家の避難先	土砂災害時・洪水時	地震時
家族が眠っているときの集合場所	土砂災害時・洪水時	地震時

氏名	連絡先	会社・学校	血液型	かかりつけ医・常備薬

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

あなたの無事を伝えましょう

171 災害用伝言ダイヤル

171 にダイヤル

録音は 1 再生は 2

被災地の方の固定電話または携帯電話・IP電話の番号をダイヤルしてください。なお、固定電話の場合は市外局番から入力して頂く必要があります。

ガイダンスに従い、録音(再生)

災害用伝言板(パソコン・スマートフォン用)

web 171 災害用伝言板

インターネットを利用し、災害用伝言板に災害情報を発信するサービスです。

https://www.web171.jp/

アクセスまたは「web171」で検索

伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力

説明に従い、登録/確認

外国人のための震災のポイント

How to Mitigate Disasters-A Guide for Foreign Nationals in Japan

Confirm information on TV

Look it up on the Internet

Japan Meteorological Agency

Weather advisory, alert, and emergency warning, short-time damage forecast, hazard distribution of flood alert, typhoon information, earthquake information, etc.

Webcam images, observed water levels of rivers, water level prediction, etc.

Safety tips

iPhone Android

Inquiry: Minakami Town Hall, General Affairs Division Crisis Management Office Tel. 0278-25-5002

発行 みなかみ町役場 総務課 危機管理室 TEL 0278-25-5002 FAX 0278-62-2291

みなかみ町防災マップより



星野 宗央 議員

平和教育についての取り組みは 平和の大切さについて学んでいる



問 戦後80年の記念の年に平和教育についてどのような取り組みを行っているのか。

答 教育長 戦争に関わる事象を扱う小学校社会科6年、中学校社会科3年の学習において、戦争がもたらした惨禍と核兵器をめぐる諸課題に関する学習を進めている。国語科では戦争を題材とした教材で、戦争の悲惨さや平和の大切さなども学んでいる。思いやりや生命尊重、互いのよさを認め合うなど、人間尊重の精神を養っている。

答 教育長 6年生では、原子爆弾の投下について、被害の写真資料や被爆体験された方々の言葉から、原子爆弾の実態や被害の大きさを理解する学習をしている。中学3年生の社会科では、核兵器の恐ろしさや非核三原則について学習をしている。

問 学校行事での国歌斉唱について、強制してはいないのか。

問 被爆80年の年に核兵器の使用については、どのような教育を行っているのか。

答 教育長 児童・生徒に日本の国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国歌も同様に尊重する態度を育てるように指導している。子供たちの特定の宗教的行為や信念に対して、無理強いをしないように注意

問 担い手不足になっていて、遊休農地も増加をしている。増産への転換を町としてはどのように対策をしていくのか。

答 町長 遊休農地の発生防止策は、広域化の推進や非農業者の参画の促進、体制強化、地域の共同活動による水路・農道等の保全管理に令和6年度は町内9地区で3万2187平方メートル、交付金で1218万5510円の支援を実施。協定農用地、田の維持管



理を可能とする体制づくりに向けた、中山間地域等直接支払制度では、令和6年度に町内44地区で、面積259万2790平方メートルで、交付金が4133万479円の支援を実施。農地を農地として保全管理していただき、米増産への転嫁がなされても対応できる体制を現状整えているところ。

活動報告 議会だより 編集特別 委員会

議会だより編集特会レポート

視察受け入れ 宮城県加美町より



令和7年8月29日、みなかみ町議会だより編集特別委員会に、宮城県加美町議会広報常任委員会の皆様が視察に訪れました。議会広報は、町民の皆様に議会の活動を正確かつ分かりやすくお伝えす

るための重要な役割を担っており、今回の視察・意見交換は大変有意義なものでした。

意見交換会では、広報の基本的な位置付けや発行の目的、ページ数の配分やレイアウトの工夫、表現上の注意点、さらには制作に要する費用など、多岐にわたるテーマが議論されました。私もみなかみ町議会においても、町民に開かれた議会を目指し、分かりやすく親しみやすい紙面づくりに日々努めておりますが、改めて広報活動の奥深さを実感する機会となりました。

加美町からは、「どのようにすれば住民に興味を持って広報を手にとってもらえるか」という課題意識が特に強く示されました。一方、みなかみ町では、情報量の充実やバランスの取れた紙面構成に重点を置いており、両町の取り組み姿勢の違いがあることを確認できました。しかし、広報を通じて町民とのつながりをいかに深めるかという視点では共通しており、大変示唆に富むものでした。



議会広報は単なる情報伝達の手段ではなく、町民と議会をつなぐ架け橋であり、信頼関係を築くための基盤であることを改めて認識しました。私たち議員は、町民からの負託に応え、説明責任を果たす使命があります。そのためにも、議会だよりを一層魅力あるものとし、より多くの町民に親しまれる紙面づくりを進めてまいりたいと考えます。

意見交換会での学びを今後の議会だよりに生かし、町民にさらに寄り添い、開かれた議会にするため、不断の努力を重ねていく所存です。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

7月17日 総文委員会レポート

視察 代替給食施設の視察

いはいはるこども園の給食室改修工事にもない、工事期間（令和7年7月22日から12月27日までの予定）代替給食を提供する、委託先あかや食堂（相保）の調理施設を視察した。

こども園の給食は、子どもたちの健康を支え、心身の発達を促

進するために非常に重要な役割を果たしています。

あかや食堂からの提供日は、7月22日から8月27日の夏休み期間中は全園児。8月28日から12月27日は0歳から3歳児。4歳から5歳児はこの間学校給食から提供する。土曜日は全園児あかや食堂



から提供する。

代表者からは、献立作成、食材の発注、食材の搬入、調理担当、配達、受け取り、食具の洗浄、乾燥、保管、提供容器（使い捨て）、おやつへの準備提供、土曜日の対応等について説明をいただいた。

配送コンテナ、スチームコンベクションオーブン、冷却機器などの調理器具は、レンタルとのこ

と、施設内はクリーニングを実施して衛生管理がしっかりと実践され、衛生状態に問題がないことを確認した。

また、提供が夏の気温の高い時期からであるため、温度管理を徹底しさらなる注意を払うとのことであった。

今後も継続的な衛生管理の実施に努めていただきたい。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

8月25日 総文委員会レポート

視察 新設校舎建設工事現場

小学校統合に伴い進められている新設校舎建設工事の現場を視察した。令和8年4月の開校を目指し、現在は工事半ばに差し掛かっている。現場では、毎日およそ100人に及ぶ職人が、各工程を着実に進めている状況を確認した。

本工事は、町として莫大な予算を投じて取り組んでいる一大事業であり、その責任は極めて重大である。議会としては、工事の進

捗や安全対策を確認するだけでなく、住民に対して事業の意義や効果を丁寧に説明していく責務を担っている。学校建設は単なる施設整備にとどまらず、子どもたちが安心して学び育つ環境を保障するものであり、ひいては地域全体の将来への投資であることを強調しなければならない。

現場では、安全管理の徹底が図られており、資材の整理整頓や作業動線の確保など、事故防止へ

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

8月7日 産観委員会レポート

概要

町が運営、または指定管理制度を利用して日帰り温泉施設は、三峰の湯（町営）、遊神館、さなざわのテラス、まんでん星の湯、風和の湯（令和7年度より休業）、ふれあい交流館の6施設である。

各委員からの意見

●温泉施設のあり方を考え直す必要がある。温泉施設は難しい。いずれの施設も地元住民に愛されているが、町の財政状況を踏まえれば、指定管理料などは再考すべき時期に来ている。などの意見が出された。

このほか、以下についても、報告・協議が行われた。

- 観光客数及び観光消費額について
- 上下水道に関する条例の見直し
- 新治給食センターを活用した加工所について
- 古馬牧用水の渇水問題について
- 公営住宅削減計画の進捗状況について



の配慮が随所に見受けられた。今後は内装工事や設備設置、外構整備といった細部にわたる作業が同時進行で進められることになり、より一層の緻密な管理が求められる段階に入る。厳しい工期ではあるが、工事を安全に進めることは何よりも優先されるべきである。

教育施設は一度建てられれば数十年にわたり地域の子どもたち利用され、地域コミュニティの核としての役割を果たす。新校舎の整備は、子どもたちの学びを支えるだけでなく、地域の魅力や定住促進にもつながり、将来的に大きな投資効果をもたらすものである。だからこそ、住民の理解と信頼を得ながら、議会としてもしっかりと進捗を見守り、必要な説明責任を果たしていくことが不可欠であると考えます。

今回の視察を通じ、建設に携わる多くの関係者の努力とともに、地域の未来を形づくる事業の重みを強く感じた。令和8年4月の新校開校が無事故で実現し、地域の宝となる学校が誕生することを切に期待する。

今後の方針としては、各課長等の意見を聞きながら検討会を設置し、施設の在り方について議論を進めていく予定であるとの説明があった。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

9月8日 産観委員会レポート

農林課より「加工施設新設」に関する説明を受けた。

概要

新たな加工場は、農産物の安定供給や一次加工を担う拠点として検討が進められており、令和7年度には試作品の製造、令和8年度には施設整備・運用開始を目指す方針との報告を受けた。



給食センター 試験加工の様子



委員会での主な意見

- 実際の運営にあたっては「何を作り、誰に届けるのか」が最も重要であり、確実に売れる商品づくりにつながるマーケティングが不可欠であること。
- 旅館やホテル、飲食店など「提供する側」の声をしっかりと調査し、どのような加工品が求められているか把握する必要があること。
- 農家など「加工を委ねる側」の意見も丁寧に取り、地域全体の実情に合った設備や体制を

- 整えることが求められること。
 - 売る側と作る側双方のニーズを踏まえた実用性の高い加工場運営を目指すべき。
- 今後は、調査研究に取り組み、町の農業振興と農家所得の向上につながる施設づくりを進めていくことを期待する。

このほか以下についても、報告・協議が行われた。

- 自伐型林業研修の開催について
- 三峰の湯の再開について
- 種雄牛と畜産振興について
- 降ひよう被害と林道倒木対応について
- 米の作付状況について
- みなかみ町商工会会員数の推移について
- 飲料水水源の状況について
- 廃棄物処理（広域処理・持ち出し先等）について

まちの匠

machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方のことです。

みなかみ町の匠を紹介します。

匠ナンバー

11

米づくりの匠

本多 義光 さん
Honda Yoshimitsu (73歳)



— 生まれたところ、育ったところ —

旧新治村（みなかみ町新巻）

— どんな匠なの —

独自に編み出した「もみ殻燐炭法」を代名詞に、全国のコンクールで金賞受賞の常連で、いわば伝説的な米づくりの名人です。

みなかみ町の地場産ブランド米「水月夜」は、香りと甘みが際立つ高品質な米です。その美味しさは、利根川と昼夜の寒暖差に恵まれた環境、そして本多さんの「米も子どもと同じで甘やかさない」という信念に基づいた独自の栽培方法によるものです。

— 匠になった経緯は —

農家の長男として生まれ、小学校5年生で父親を亡くしました。幼少期は貧しく、親戚



地場産ブランド米「水月夜」

本多さんは生死の境をさまよった経験が、まるでスパイスのように、その情熱にさらに深みと奥行きを与えてくれたようです。

これからもその情熱で、素晴らしい活躍を期待しています！

よせられた感想

70代
もっと多くの人に議会の傍聴に来てもらえるように、いろいろなアイデアを工夫していただきたいと思っています。傍聴に行くとき町全体の今の状況がわかります。是非多くの方々に傍聴に行ってもらいたいと思います。
(湯原)

70代
議会の傍聴に行ったので、「町政を問う・一般質問」は、聞いただけでは違い復習できて良かったです。
(鹿野沢)

自治功労者表彰



石坂武議員（10年表彰）、森健治議員（10年表彰）
利根郡町村会より自治功労者表彰を受けました。

編集後記

9月が過ぎてからも連日暑い日が続いています。梅雨の時期にたいして雨が降らず。そうかと思うとまとまって雨が降り、災害級の雨量をもたらしています。春夏秋冬、四季があまり実感できなくなっていますが、今回の議会だよりの発行は10月半ばです。秋らしい秋に期待したいと思います。

また、主食の米の価格高騰が続いています。新米が出回るようになって価格が落ち着けば購入しやすくなるのですが、どうなるでしょうか。

議会でも令和6年度決算認定が審議されました。1年間の町の事業を振り返って徹底的に審議しています。インターネットでの議会配信が始まっています。連合審査、各委員会や全員協議会なども配信できるようにするのですが。

(星野宗央)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

……………流れ……………

- ①受付にて「受付表」に記入する（住所・電話番号・氏名）
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱に入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

**12月 2日（火）～
12月10日（水）の予定**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問い合わせ先】議会事務局

☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…江口 樹

副委員長…河合 史将

委員…茂木 法志

星野 宗央

鈴木 美香

編集アドバイザー

利根川太郎

編集モニター

利根商業高等学校生徒

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。

※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより「クイズ・感想」係

締切：令和7年11月30日（当日消印有効）

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

みなかみ町は合併して今年で何年？

- ☐ A 10年 ☐ B 15年
☐ C 20年 ☐ D 25年

前回の議会だより84号ふるさとクイズの正解は『◎7人』でした。

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより

「クイズ・感想」係

379-1393

料金受取人私郵便

沼田局承認

1154

差出有効期間
令和8年3月
31日まで
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —

山折り線



モズ（撮影場所：羽場）

本気でやって みんなで笑顔

感想

皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。



← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○ クイズの答え ⇨

○ 住 所 ⇨

(ふりがな)
○ 氏 名 ⇨

○ 年 代 ⇨
(該当項目に○印を
付けてください)

・ ~10代 ・ 20代 ・ 30代
・ 40代 ・ 50代 ・ 60代
・ 70代 ・ 80代~

谷 - 折 - リ - 線

○ 議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ